

によきによき

きのこのじか



新聞

12月号



Facebook 注目記事



きのこのじか



きのこの胞子を画用紙に落として紋様を描かせる『胞子紋』に挑戦！きのこ問屋の商談室が怪しい実験室と化しました。

お子さんの自由研究にしたら楽しいかも？！



《クリスマスと赤いきのこ》

キラッキラのイルミネーションとツリーで彩られた町を歩いているとウキウキしてくる、そんな季節がやってきました。そろそろクリスマスですね！

実はクリスマスオーナメントの中にはキノコをモチーフにしたものが多数あるんです。『ベニテングタケ』がその筆頭、赤いカサに白い水玉模様でまさにクリスマスカラー。海外では“幸運のモチーフ”とされています。

この季節はキノコオーナメントを探す“町中キノコ狩り”も楽しいですよ☆



Twitter注目記事



きのこのじか @kinokonojikan



福井県で出会ったきのこクチベニタケ。指でつまむと口紅の様に赤い部分から胞子をぶわっと吹き出します。

写真は題して『3匹のエイリアンの散歩』



きのこ問屋 社員のひとこと

部長：手代木 孝一

【所属】総務 【きのこ問屋歴】11年

【趣味】パソコン、温泉

【ハマってる物】韓流ドラマ

【好きな食べ物】

スンドゥブ鍋、カレー

【ひとこと】

(年末と言う事で、新年へ向けた抱負を書いてもらいました)



従業員一人ひとりが「自分自身でやるぞ」の
意気込みで新たなチャレンジをしよう。

きのこ問屋コラム『オーガニック椎茸』#18

いつもきのこ新聞を観て頂き誠にありがとうございます。

そして今年一年お世話になりました大変ありがとうございました。さて、いよいよ今年最後のきのこ新聞コラムとなりました。

先日『オーガニックエキスポ2016』と言う展示会に行く機会がありました。

オーガニック業界って最近低迷気味じゃないかと思いがちながら行って見たところ、とても大盛況で沢山の方が見学に来ていたのでびっくりしました。安心安全な食べ物は命に直結するものですから皆さん関心があるのですね。

しかしながら一般に流通している『きのこ』と言うと施設栽培がほとんどですので、きのこはオーガニック栽培という枠には中々入れないのです。

天然きのこならば究極のオーガニックと言うか、オーガニック以上なのですがね。

きのこのオーガニック『有機』では岐阜県養老町にある(株)ハルカインターナショナルさんが日本初のJAS有機認定の菌床椎茸を栽培しています。

実は弊社でもお取引のある農家さんと組んでJAS有機栽培で原木椎茸を栽培できるように準備を進めています。標高600mの圃場にログハウスを建ててほぼ一年をそこで暮らしながら原木椎茸を栽培している大野さん、人間的にもとても素晴らしい方です。今後、日本中でもっと多くのJAS有機栽培のきのこ農家さんが増えていく事を目標に頑張っていきたいと思います。

これからも安心安全で正直なきのこを皆様にお届けできますよう努力してまいります。

また来年もどうぞよろしくお願いいたします。

株式会社バイオコスモ

代表取締役社長 市岡 隆司



きのこ問屋を営んで25年。今でも自分の足できのこ産地を回り営業回ります。モットーは『仕事に携わったすべての人が幸せになれる会社に』会社は神奈川県にありますが出身は岐阜県。

今月の『このきのこ知ってる??』

肉厚で特有の香りと味覚

『高原ひらたけ』



ひらたけは昔から一般的に食べられてきた日本人になじみ深いきのこでしたが今では栽培する方が減り、あまり見かけなくなってしまった貴重なきのこの一つです。

旨味がありダシが良く出るので炒め物にしても鍋に入れても美味しく、高原ひらたけは肉厚なので歯応えも良いです。

ちなみに英名は『オイスターマッシュルーム』と言います。

【レシピ例】

バター炒め、ホイル焼き、八宝菜などの中華料理、鍋など。

(営業:望月)

【編集後記】

2016年最後のきのこ新聞です。今年もきのこのじかんにお付き合い頂きありがとうございました。

月間でも毎回新聞ネタに頭を悩ませながら作っていますが(日刊はどれだけ忙しいんでしょう...)きのこ新聞を通して少しでもきのこ問屋の雰囲気が伝われば幸いです。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

【次回予告】

・あけましておめでとう動画の紹介
・社員のひとことはデリカ部。
・このきのこ知ってる?は野生種えのきです。